

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

(1) オリ・パラの歴史や意義の講話

(2) 環境教育 (SDGs と木質建築)

可美小学校での開催 について



公立大学法人

静岡文化芸術大学

令和3年7月2日
静岡文化芸術大学 地域連携室

【電話】(053)457-6105

浜松市からの委託を受けて、オリパラ教育浜松市内大学連携協議会（静岡文化芸術大学を含む市内5大学で構成）が主催する「オリパラ教育」を実施します。

この事業は、東京オリンピック・パラリンピック大会への機運を高め、子供たちがスポーツの価値や共生社会への理解を深めることを目的に、2019年から市内各小中学校を中心に展開している事業です。

今回の2つの教育実践は、オリパラの本番を間近に控えた夏休み前に開催される貴重な機会です。ぜひ取材をよろしくお願ひします。

記

(1) オリ・パラの歴史や意義の講話

日時： 令和3年7月7日（水） 10:20～11:05

場所： 浜松市立可美小学校 体育館（南区若林町1748）

講師： 大野木 龍太郎 浜松学院大学教授（現代コミュニケーション学部 学部長）

専門分野：スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学

参加者： 可美小学校 4年生

内容： クイズをまじえながら、オリンピック・パラリンピックの理念や教育的価値を学ぶという形式です。

【オリンピック精神の5つの教育的価値】

- ・努力から得られる喜び
- ・フェアプレー
- ・他者への敬意
- ・向上心
- ・体と頭と心のバランス

(2) 環境教育「オリンピック・パラリンピック会場で木を使った建築がつけられるわけ」

日時： 令和3年7月15日（木） 10:20～11:50

場所： 浜松市立可美小学校 体育館（南区若林町1748）

講師： 土屋 和男 常葉大学教授（造形学部 造形学科 学科長）

専門分野：建築の歴史とデザイン

参加者： 可美小学校 5年生

内容： 新国立競技場には全国47都道府県から集めた杉の材木が屋根に使われており、また、浜松市のFSC認証林は国内最大であり、天竜杉はこのほかのオリンピック施設でも数多く使用されています。オリパラを切り口に、「SDGs と木質建築」についての理解を深める講話です。

【問い合わせ先】 静岡文化芸術大学：地域連携室 岡田 Tel.053-457-6105